

龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画の
評価について
(評価シート)

龍ヶ崎市健康づくり推進部
スポーツ都市推進課

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策1

政策1	スポーツ・運動を通じた健康づくり										
施策1	高齢者をはじめ誰もがスポーツに親しむ機会の充実										
主な事業	1-1-1	マラソン大会の開催				1-1-5	指定管理者によるスポーツ教室の充実				
	1-1-2	健幸マイレージ事業の推進				1-1-6	ニュースポーツの推進				
	1-1-3	総合型地域スポーツクラブとの連携事業の推進				1-1-7	ウォーキングの普及				
	1-1-4	スポーツ大会・イベントの充実				1-1-8	健康づくりに向けた体操の普及				
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値 (平成28年度)	数値	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	評価※
	★	健幸マイレージ事業の登録者数	人	—	目標	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	A
					実績	1,198	1,822	2,162	2,565		
				%	—	達成度	120	121	108	103	
	☆	スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数	人	6,525	目標	7,500	8,500	8,600	8,700	8,800	C
					実績	8,343	8,756	2,547	2,835		
				%	—	達成度	111	103	30	33	
	☆	スポーツ教室の延べ利用者数(指定管理者)	人	51,795	目標	52,000	54,000	54,000	54,000	54,000	C
					実績	47,895	45,653	40,999	29,070		
				%	—	達成度	92	85	76	54	
	☆	スポーツ教室の延べ利用者(総合型地域スポーツクラブ)	人	20,957	目標	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	C
					実績	23,088	19,167	11,704	10,463		
				%	—	達成度	105	87	53	48	
	☆	ニュースポーツ教室・大会の延べ参加者数	人	946	目標	1,100	1,150	1,150	1,200	1,200	D
					実績	1,157	1,339	34	0		
				%	—	達成度	105	116	3	0	
	☆	ふるさとふれあい公園(グラウンドゴルフ場・ゲートボール場・ディスクゴルフ場)の延べ利用者数	人	15,859	目標	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000	B
					実績	15,650	15,322	11,152	11,078		
				%	—	達成度	98	93	66	63	
	☆	健康ウォーキング講座の延べ参加者数	人	189	目標	360	380	400	425	450	A
				実績	843	847	321	728			
			%	—	達成度	234	223	80	171		
☆	てくてくロードを歩いた延べ人数	人	1,179	目標	2,000	2,075	2,150	2,225	2,300	D	
				実績	1,176	974	1,063	649			
			%	—	達成度	59	47	49	29		
☆	いきいきヘルス体操教室の延べ参加者数	人	21,881	目標	22,400	22,800	23,200	24,000	25,000	D	
				実績	19,942	18,745	5,841	6,425			
			%	—	達成度	89	82	25	27		
☆	元気アップ体操の延べ参加者数	人	7,398	目標	7,000	7,100	7,200	7,300	7,450	B	
				実績	7,121	6,292	3,106	4,629			
			%	—	達成度	102	89	43	63		
総合評価基準	評価事項										総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要	各種スポーツ大会やイベントを定期的実施し、身近で気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図り、誰もがスポーツを通じて健康的な生活を送れるような様々な施策を実施してきた。 現在、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値の多くは目標に届かず、令和4年度末の目標値達成は難しい状況であるが、屋外施設の利用やウォーキングなどの屋外活動については、コロナ禍でも実施しやすいものとして順調に参加者は伸びており期待ができる。また、その他の施策についても、コロナ禍前までは順調に参加者が伸びていたものの、イベントの中止や施設の休館・時短営業により実施できていないため評価が難しいが、ニュースポーツの研究や、感染症対策を徹底しながら指定管理者の教室は実施されている。 今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、実施可能な取組を進めていくことが重要である。										B

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策2

政策1	スポーツ・運動を通じた健康づくり											
施策2	スポーツ団体活動の活性化											
主な事業	1-2-1	スポーツ協会の組織体制の強化に向けた支援										
	1-2-2	総合型地域スポーツクラブの運営・活動への支援										
	1-2-3	スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援										
	1-2-4	スポーツ少年団の連携・交流大会への支援										
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	スポーツクラブ等に加入している16歳以上の市民の割合	%	17.6	目標	—	—	—	—	20	C	
					実績	—	—	—	11			
	☆	総合型地域スポーツクラブの認知度	%	25	目標	—	—	—	—	30	A	
					実績	—	—	—	27			
	☆	総合型地域スポーツクラブの会員数	人	455	目標	500	550	600	700	800	C	
					実績	423	456	400	278			
	その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	龍ヶ崎市スポーツ少年団本部への加入団体数	団	32	目標	32	32	33	34	35	A
						実績	31	31	31	31		
		☆	市内スポーツ少年団への加入率(小学生)	%	—	目標	—	—	—	—	—	—
						実績	—	—	—	—		
	☆	市内スポーツ少年団への加入率(小学生)	%	—	達成度	—	—	—	—	—	—	
					達成度	—	—	—	—			
総合評価基準	評価事項										総合評価	
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要	<p>スポーツクラブ等に加入している16歳以上の市民の割合は、ベース値である平成28年度より下がっている。総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」については、少子化やコロナ禍でのスポーツ活動の自粛等により会員数が減少しており目標値達成は厳しい状況であるが、認知度は多少上昇している。令和4年度から新たにスポーツサロン北文間館が開設されたことにより活動場所も増加し、安定した教室・講座が実施できることから、今後の会員数の増加や認知度上昇につながるものと期待できる。</p> <p>また、交付金事業ではコミュニティセンターを拠点とした事業や障がい児を対象とした事業等を展開していることも、利用者の増加が見込まれる。</p> <p>スポーツ少年団活動については、市民が主体的に運営するスポーツクラブとして、学校の体育館や近隣の運動公園などの公共施設を活動の拠点しており、市の施設利用料の減免や大会参加時のバス使用料の補助など支援を行ってきた。少子化の進行に伴い団員確保が難しく活動が縮小している団もあり、今後も継続した支援が必要となる。</p>										B	

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策1 施策3

政策1	スポーツ・運動を通じた健康づくり										
施策3	障がい者スポーツの環境整備										
主な事業	1-3-1	スポーツ施設のバリアフリー化の推進		1-3-5	全国障害者スポーツ大会の開催を契機とした障がい者スポーツの普及						
	1-3-2	スポーツを通じた障がい者の交流の促進									
	1-3-3	障がい者スポーツの周知啓発									
	1-3-4	障がい者スポーツ大会の開催及び参加への支援									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(障がい者)	人	ベース値 (平成28年度) 5,068	数値	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	評価 ※ D
			%	—	目標	5,140	5,180	5,220	5,260	5,300	
	☆	総合運動公園のスポーツ施設における障がい者スポーツ大会の開催数	回	2	目標	4	4	4	4	4	D
			%	—	実績	4,817	4,231	2,619	1,100		
					達成度	94	82	50	21		
					目標	4	4	4	4	4	
		実績	5	4	0	0					
		達成度	125	100	0	0					
総合評価基準		評価事項									総合 評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		障がい者の総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設閉館や終息が見えない感染の不安から利用を控えていると思われ、目標値の約20%の利用となっている。 施設面においては、障がい者手帳アプリの導入による利用者の利便性の向上や施設改修時のバリアフリー化を行い、誰もが利用しやすい施設へと改善を図ってきた。 障がい者のスポーツ活動は、生きがいづくりや機能回復及び社会参加につながる重要な要素のひとつであり、市民が互いの理解をより深めるためにも、引き続き、施設の利便性の向上を図るとともに、障がい者スポーツの普及や交流を促進していくことが必要である。									C

※1 各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策1

政策2	子どものスポーツ活動の充実										
施策1	子どもの体力づくりの推進										
主な事業	2-1-1	各小中学校の課題に応じた体力づくり									
	2-1-2	運動・遊び・スポーツ活動の実践力の育成									
	2-1-3	小中一貫教育における体力向上策の計画立案									
	2-1-4	学校体育及び競技大会における市のスポーツ施設の活用									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	体力テスト総合評価でA+Bの児童生徒の割合	%	ベース値 (平成28年度) 54.3	目標	60	60	60	60	60	B
					実績	54.4	51.6	—	47		
	達成度	91	86	—	78						
	☆	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において男女ともに県平均を上回った種目数	%	—	目標	小5 4種目 中2 4種目	小5 4種目 中2 4種目	小5 4種目 中2 4種目	小5 4種目 中2 4種目	小5 4種目 中2 4種目	D
					実績	小5 2種目 中2 0種目	小5 0種目 中2 0種目	—	小5 0種目 中2 0種目		
					達成度	小5 50 中2 0	小5 0 中2 0	—	小5 0 中2 0		
総合評価基準		評価事項									総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		目標値である「体力テスト総合評価AまたはBの児童生徒の割合60%」については中学校女子以外については困難な数値設定となっている。コロナ禍でも実施できる体力向上について各校工夫しながら取組が実施されている。また、例年、市の充実したスポーツ施設を活用することによって、児童生徒の活動意欲が高まり、専門家からの助言で技能の向上が図られている。									B

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策2

政策2	子どものスポーツ活動の充実										
施策2	運動部活動の活性化										
主な事業	2-2-1	部活動指導員配置制度の創設									
	2-2-2	運動部活動における外部指導者の活用									
	2-2-3	運動部活動の支援体制の充実									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣人数	人	6	目標	10	10	10	10	10	A
					実績	13	9	10	8		
					達成度	130	90	100	80		
	☆	生徒の運動部活動への参加率	%	71.2	目標	—	—	—	—	モニタリング	—
					実績	72.1	71.0	68.4	67.9		
					達成度	—	—	—	—		
総合評価基準		評価事項									総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		スポーツ指導者バンク制度による運動部活動への指導者派遣については、毎年、各中学校運動部からの希望により派遣されており、各運動部活動の技術的指導を行う外部指導者の活用が推進されており、さらに充実した人材の確保が必要である。また、大会出場に係る交通費等について支援しており、バス利用の補助を実施し保護者の経済的負担軽減するなど、支援体制を充実している。									B

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策2 施策3

政策2		子どものスポーツ活動の充実										
施策3		地域の連携による子どものスポーツ活動の充実										
主な事業		2-3-1	流通経済大学生による体育授業サポート等の促進									
		2-3-2	児童生徒のスポーツ活動支援									
		2-3-3	子どもが遊びやスポーツに親しむ機会の提供									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値 (平成28年度)	数値	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	評価※	
	☆	体育の授業以外にスポーツや運動をしている児童生徒の割合	%	児童67.7 生徒68.4	目標	—	—	—	—	児童・生徒75	A	
					実績	—	—	—	児童65.8 生徒70.6			
					達成度	—	—	—	—			
	☆	部活動に所属していない生徒のうち、学校外のクラブチームに所属していると答えた生徒の割合	%	5.8	目標	—	—	—	—	モニタリング	—	
					実績	—	—	—	—			
達成度					—	—	—	—				
その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数	人	18,937	目標	19,800	20,000	20,000	20,000	20,000	D	
					実績	20,466	18,124	629	951			
					達成度	103	91	3	5			
総合評価基準		評価事項										総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		「たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には遠い状況にあるが、感染対策を優先し、実施可能な範囲でNPOのサポーターや地域のボランティアによる指導や見守り事業が行われ、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場を提供している。 また、小中学校の授業や運動会等では、流通経済大学生の協力を得て実施するなど、大学と連携したサポートが毎年行われている。 今後も、子どもたちのスポーツ活動の充実を図るために、流通経済大学、小中学校、スポーツ団体、家庭、地域等の緊密な連携が必要である。										B

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策1

政策3	競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化											
施策1	スポーツ指導者・トップアスリートの育成											
主な事業	3-1-1	指導者の養成と資質向上										
	3-1-2	技術講習会等を通じた競技力の向上										
	3-1-3	関係団体の連携による優秀選手の早期発掘と育成										
	3-1-4	国際・全国大会出場に対する支援・応援										
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値 (平成28年度)	数値	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	評価※	
	☆	スポーツ指導者養成講習会の受講者数	人	22	目標	30	40	50	55	60	D	
					実績	12	0	0	0			
					%	—	達成度	40	0	0		0
	☆	スポーツ全国大会出場件数(大学生を除く。)	件	42	目標	50	55	60	65	70	A	
					実績	42	51	24	57			
					%	—	達成度	84	93	40		88
	☆	市民参加型スポーツ技術講習会等の延べ参加者数	人	500	目標	510	550	550	550	550	D	
					実績	559	526	0	0			
					%	—	達成度	110	96	0		0
	総合評価基準	評価事項										総合評価
	A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ指導者養成講習会は3年連続で実施できず、指導者育成の取組みは進んでいないため、今後はコロナ禍でも実施できる取組の検討が必要である。一方、競技者については、各競技団体において可能な範囲で大会を実施し、コロナ禍においても各選手の育成に努めている。 また、毎年、国際大会や全国大会へ出場した選手に対する激励金の交付や、その活躍を広報紙・SNSで市民へ周知するなどの支援を行いトップアスリートの育成に向けた活動を支援している。										C

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策2

政策3	競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化										
施策2	スポーツによる交流人口の増加										
主な事業	3-2-1	マラソン大会の開催【再掲】		3-2-5	各国代表チームとの交流促進						
	3-2-2	競技スポーツ大会の開催促進		3-2-6	スポーツツーリズムの推進						
	3-2-3	茨城国体の開催に向けた機運の醸成		3-2-7	地域スポーツコミッションの設立						
	3-2-4	事前キャンプ招致活動の推進									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	種別	指標名	単位	ベース値 (平成28年度)	数値	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	評価 ※1
	★	ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの招致チーム数	チーム	—	目標	3	3	3			A
					実績	3	3	4			
					達成度	100	100	133			
	☆	スポーツを直接観戦する16歳以上の市民の割合	%	8.8	目標	—	—	—	—	10	—
					実績	—	—	—	※2		
					達成度	—	—	—	—		
	☆	市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合	%	32.1	目標	—	—	—	—	37	A
					実績	—	—	—	31		
					達成度	—	—	—	84		
	☆	総合運動公園のスポーツ施設の延べ利用者数(利用者数+観覧者数)	人	347,454	目標	410,000	420,000	430,000	440,000	455,000	C
					実績	374,289	348,003	181,538	222,952		
達成度					91	83	42	51			
☆	海外代表チームの市内での合宿数	回	3	目標	3	3	3	1	モニタリング	A	
				実績	3	3	0	1			
				達成度	100	100	0	100			
その他 目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	2019年にたつのこアリーナで国体柔道競技が開催される認知度(一般)	%	12	目標	50					A
					実績	49					
					達成度	98					
総合評価基準		評価事項									総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		<p>施設の利用者数や観覧車数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値の半数に留まっているが、プロ野球BCリーグ公式戦や流通経済大学運動部の公式戦を中心としたトップレベルのスポーツ大会等を実施し、高いレベルの競技スポーツを見る機会の充実を図ってきた。また、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでは、アメリカ合衆国柔道競技チームと基本合意を締結し、大会終了後に子どもたちとの事後交流事業を実施して代表チームとの交流促進を図ることができた。</p> <p>市民意識調査では、「市内のスポーツ施設でスポーツ観戦をしたことがある16歳以上の市民の割合」は、前回調査(H28)から1%減少し31.1%(R3)となっており、今後も、総合運動公園の充実した施設を活かして公式大会の招致や市内外から多くの人に参加できるスポーツイベントの開催に努め、市民のスポーツへの関心を高める取組が必要となる。</p>									B

※1 各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

※2 調査方法変更により数値なし

(参考)主な観戦の仕方を全て回答した場合「テレビの中継を見る」83%に次いで、「直接、試合会場で観戦をする」が29%

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策3 施策3

政策3	競技スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化										
施策3	流通経済大学運動部との連携										
主な事業	3-3-1	流通経済大学運動部の公式試合等の情報提供									
	3-3-2	流通経済大学運動部との交流促進									
	3-3-3	流通経済大学運動部応援活動の促進									
	3-3-4	流通経済大学運動部の活動支援									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数	人	28	目標	80	80	80	80	80	D
			%	—	実績	74	49	0	0		
	☆	総合運動公園のスポーツ施設における流通経済大学運動部公式戦の開催数	試合	31	目標	40	40	40	40	40	B
					実績	41	37	21	30		
			%	—	達成度	93	61	0	0		
					達成度	103	93	53	75		
総合評価基準		評価事項									総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		流通経済大学運動部への活動支援については、総合運動公園内のスポーツ施設の優先貸出し等、市及び指定管理者との連携により活動支援を行っている。また、例年、大学運動部公式試合観戦ツアー等の開催や、広報紙やSNSを活用したイベント等の情報発信など、大学との連携を図りながら大学運動部と市民の交流を行っており、大学と市民の交流の活性化を図ることで、地域のにぎわいの創出と市民のスポーツへの関心を高めている。									B

※ 各目標値の評価基準(達成度がA: 80%以上・B: 60~80%未満、C: 30~60%未満、D: 30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策1

政策4	スポーツ環境の充実										
施策1	スポーツ施設の充実と有効活用										
主な事業	4-1-1	スポーツ施設の機能・設備の充実									
	4-1-2	利用しやすい施設運営とサービスの充実									
	4-1-3	大規模イベント開催時における交通対策の推進									
	4-1-4	学校体育施設の開放の推進									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	たつのこアリーナ(メインアリーナ), たつのこフィールド, たつのこスタジアムの稼働率	%	アリーナ84.8 フィールド63.4 スタジアム49.8	目標	アリーナ86 フィールド64 スタジアム50	アリーナ87 フィールド65 スタジアム51	アリーナ87 フィールド66 スタジアム52	アリーナ88 フィールド67 スタジアム54	アリーナ90 フィールド68 スタジアム55	B
					実績	アリーナ86 フィールド63 スタジアム40	アリーナ86 フィールド58 スタジアム33	アリーナ81 フィールド52 スタジアム25	アリーナ85 フィールド62 スタジアム35		
	達成度				アリーナ100 フィールド98 スタジアム80	アリーナ99 フィールド89 スタジアム65	アリーナ93 フィールド79 スタジアム48	アリーナ74 フィールド93 スタジアム65			
	☆	たつのこアリーナ利用者(個人), たつのこフィールド・スタジアム・屋外施設利用者の満足度	%	アリーナ75.3 屋外施設73.7	目標	アリーナ78 屋外施設75	アリーナ80 屋外施設78	アリーナ80 屋外施設78	アリーナ80 屋外施設78	アリーナ80 屋外施設78	A
					実績	アリーナ82.4 屋外施設84.7	アリーナ79.8 屋外施設81.1	アリーナ79 屋外施設85.4	アリーナ79.8 屋外施設83.5		
					達成度	アリーナ106 屋外施設113	アリーナ100 屋外施設104	アリーナ99 屋外施設109	アリーナ100 屋外施設107.1		
総合評価基準		評価事項									総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要		総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、民間のノウハウを活かした適切な管理運営を行い、高水準の機能・設備を備えた施設として充実を図り、計画的な改修・修繕等に努めてきた。 今後も、市民が利用しやすい環境を整え積極的な活用を促進するため、施設整備や運営についての計画を検討していく必要がある。									B

※ 各目標値の評価基準(達成度がA: 80%以上・B: 60~80%未満、C: 30~60%未満、D: 30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策2

政策4	スポーツ環境の充実										
施策2	スポーツボランティア活動の普及啓発										
主な事業	4-2-1	スポーツ推進委員の資質向上				4-2-5	障がい者スポーツのボランティアの育成と活動の促進				
	4-2-2	スポーツ推進委員の活動の活性化									
	4-2-3	スポーツボランティア活動の促進									
	4-2-4	スポーツボランティアの育成等に向けた仕組みの構築									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合 (市民意識調査)	%	11.4	目標	—	—	—	—	20	C
					実績	—	—	—	10		
	☆	流通経済大学スポーツイベントボランティア延べ参加者数	人	193	目標	—	—	—	—	モニタリング	—
					実績	181	166	60	48		
	☆	国体柔道競技の補助員・ボランティアの確保見込数	%	—	目標	100	180				A
					実績	110	183				
☆	国体柔道競技の補助員・ボランティアの確保見込数	%	—	達成度	110	102				A	
総合評価基準	評価事項										総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要	スポーツ推進委員の活動では、ニュースポーツの研究を重ね、龍ヶ崎市独自のニュースポーツを考案したことにより活動が活性化しており、今後のニュースポーツ普及促進も期待ができる。また、市民意識調査では、「運動やスポーツ活動のボランティア活動に参加したことがある16歳以上の市民の割合」は、1割(R3)となっている。新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動に参加する機会が少なくなっているが、中止となった当市の「第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会」において、大会前に応援旗を作成するボランティアを実施しコロナ禍でできるスポーツに関わるボランティア活動の1つとすることができた。										B

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)

第2次スポーツ推進計画 評価シート

政策4 施策3

政策4	スポーツ環境の充実										
施策3	スポーツに関する情報提供の充実										
主な事業	4-3-1	スポーツ施設・教室等に関する情報の一元化									
	4-3-2	スポーツ団体に関する情報提供の推進									
	4-3-3	情報提供媒体の拡大									
目標数値 ☆単年度 ★累積目標値	☆	スポーツの情報提供に満足している16歳以上の市民の割合	%	13.3	目標	—	—	—	—	30	C
					実績	—	—	—	15		
					達成度	—	—	—	50	0	
総合評価基準	評価事項										総合評価
A: 順調 B: 概ね順調 C: 遅れている D: 見直しが必要	スポーツに関する情報は、市広報紙「りゅうほー」や市公式HP、指定管理者が発行するチラシ、フェイスブック等のSNSも活用し広く市民への提供を行ってきたが、市民意識調査の結果では、「もっと情報提供をして欲しい」と考えている人の割合は、35.9%(R3)となっており、「今のままで良い」は14.8%(R3)で前回調査(H28)から1.5%の伸びに留まっており、より一層の情報提供が求められています。今後もこれまで以上に、それぞれのニーズに合った情報を選び、積極的にSNSも活用しながら、より効果的な情報提供の仕方について検討する必要がある。										C

※各目標値の評価基準(達成度がA:80%以上・B:60~80%未満、C:30~60%未満、D:30%未満)